



【1部・八学大ー青森大】八学大は8回1死、平尾柊翔が満塁本塁打を放って6-4とする=洋野町種市オーシャンビュースタジアム

八学大青森大下し全勝

北東北大学野球



北東北大学野球春季リーグ戦第3週第1日は27日、1〜3部の計7試合を行った。

た。1部で4戦全勝中の八学大は同じく全勝の青森大に7-5で競り勝ち、単独首位に躍り出た。八学大は華々しいアーチで首位決戦をものにした。2点リードされて迎えた8回、連打と四球で1死満塁とすると、3番平尾柊翔の右越え本塁打で逆転。その後手も緩めず、追いつける青森大を振り切った。

第2日の28日は各地で1〜3部の計7試合を実施。1部は洋野町種市オーシャンビュースタジアムで行い、八学大は青森大との連戦に臨む。午後2時プレーボール予定。(桑田友人)

【1部】
▽第3週第1日(洋野町種市オーシャンビュースタジアム)
八学大(5勝) 11000004117
000022010 5
青森大(4勝1敗)

平尾 値千金満塁アーチ

「今日は自分がキーマン」

○…不振の強打者が起死回生の一発で八学大に勝利をもたらした。リーグ戦開幕以降初めて3番に座った平尾柊翔が8回の最終打席に値千金の満塁本塁打。一番大事な試合で、今日は自分がキーマンだと思っていた。最高です」と満面の笑みを見せた。

開幕から3戦は2番で13打数3安打。直近の試合で持ち直したが、この日は4打席目まで凡打が続いた。逆転されて迎えた8回1死満塁の好機。長打より転がすべきーとの考えがよぎったが、「そのまま変えずに行け」という監督やコーチの言葉に信じた。初球だった。真ん中低めの直球をすくい上げ、右スタンドへ見事な弧を描いた。全勝対決に勝利し、八学大が一步前に出た。平尾は「今日のことはい意味で忘れて、明日の試合に臨みたい」と気持ちを新たにしていた。